



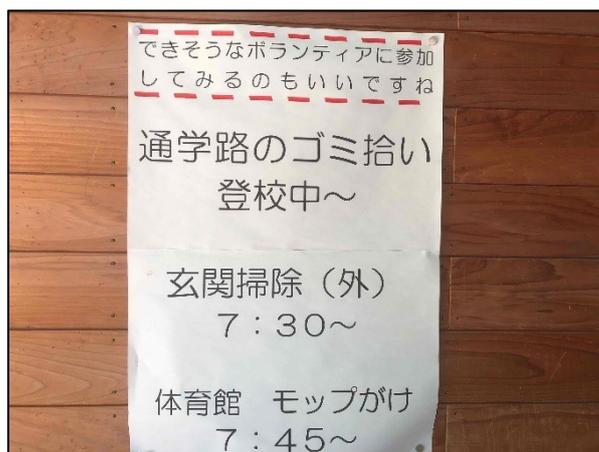
6年生ありがとう

6年生の頑張りを紹介します。以前の北小だよりで、6年生を中心として昇降口前の掃除をしてくれていることを少し紹介しました。6年生はこの他にも、朝のあいさつ運動もやってくれています。委員会で決まっているのかと思います、6年生に尋ねてみると、どちらも自主的にボランティアでしているということでした。

6年生の廊下でこんな掲示物を見つけました。子どもたちは、これを見て、自分で考えて自主的にボランティアを行ってくれていたのです。きっとこれまでの6年生も同じような取り組みをしてきていたのでしょう。北小には素敵な伝統が残っています。この素敵な伝統を今の6年生がしっかり引き継いでくれています。

6年生は最上級生として、1年生の給食の準備や後片付け、掃除の手伝いなど頑張っています。みなさんの頑張りに下級生も先生方も感謝しています。

6年生、ありがとう。



マスクの着用について

1学期が始まり1か月が過ぎました。マスクの着用は個人の判断としています。マスク生活が長かったせいか、授業中に教室を回ってみると、マスクをしている子が大半のようです。8日からはコロナの扱いも5類に引き下げられるようです。少しずつ以前の学校生活に戻っていくと思います。私は先日、マスクを取って教室を回ったところ、「あっ、校長先生なんですね。気づかなかった。」と言われました。マスクなしの顔も子どもたちに見せていかないと忘れられそうです。



校長のひとこと

4月29日(土) 宿の鉦浮立に呼んでいただきました。

あいにくの雨でしたが、子どもたちからご年配の方々が集まって、4年ぶりに開催されました。お父さんから大太鼓の叩き方を習い、一生懸命に頑張っている子、太鼓の音が心に響きました。雨に濡れながら、大きな鉦を叩きながら浮立を奉納されている方々。きっと毎晩、仕事が終わって集まれ、練習を重ねてこられたのでしょう。

フィナーレを迎えたとき、涙が出てきました。伝統を繋ぐことは大切なのですね。感動しました。

